

もっとワクワクする 武蔵野をつくりたい！

理系サラリーマンが市政を変える！

「あっ、えっと…池上彰！」難しいことを分かりやすく解説する池上さんに似ていますか？ 私は理系です。理系の良さは合理的で、分析力に優れているところです。この独特の感覚を市政に活かしたいと考えています。

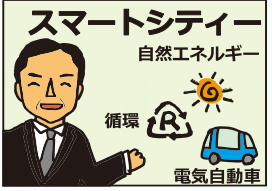
「なぜ？」「仕事を辞めてまで」…今年1月末に退職し、立候補の決意を語るたびに聞かれました。それは、今の武蔵野市には昔ほどワクワク感がないので、私の経験・知識、理系の感覚で変えていきたいと思ったからです。全力で取り組んでいく所存です。

宮代一利の考える武蔵野

みやしろ かずとし

3つの重点政策

① 武蔵野を環境・資源循環の先進都市に



夢の未来都市は、自然エネルギーを活用した発電を行い電気代の安い町です。炭酸ガスを排出しない**電気自動車が自動運転**で走る、渋滞のない、事故の起こらない安全・安心の町です。**スマートシティーの構築**を提案します。今から準備のための研究に着手し、投資も開始する必要があります。**マイクロプラスチック**など**地球規模の課題解決**も**武蔵野から発信**していきましょう。

② 学校を地域の中心として、さらに充実



私は、**南町カーニバル**副委員長をしています。多くの方々が学校に集う**地域イベント**です。それは、**どの学区も同様で学校の持つ力**です。今以上に**学校を地域づくりの拠点**にしていきましょう。



学校は、**災害時の避難所**にもなります。その際に学校施設を普段から使っている方がいると**避難所運営のマンパワー**が違ってきます。学校図書館、家庭科室・技術室、図工室・美術室、音楽室なども**地域づくりの拠点**になります。パソコンルームで授業に支障のない時に**高齢者向けのパソコン教室**を生徒たちが先生になって行うプログラムを提案します。



また、**学校の部活指導、行事や事務**を**元気な高齢者**をはじめとする**地域人財が支援**することを提案します（人材こそ地域の財産、人財です）。**武蔵野市は、人財の宝庫**です。子どもたちも先生たちも、みんなで育んでいきましょう。今ある施設を活用し、**ソフト面での工夫で世代間の交流**を深めながら目的を達する制度は、アイデア次第で有意義な展開ができると考えます。

③ ワクワクする吉祥寺をふたたび！



商業や観光の拠点でもありながら、すぐ近くに安心して住める町 = **吉祥寺の魅力を再生**するには、新しいエネルギーが必要です。**スタートアップ支援制度の創設**、**若き起業家の誘致**を提案します。文化・芸術が育つ環境を整え、**人と町を育てる施策**を充実させましょう。**吉祥寺**から魅力的な町づくりを発信し、自らを再生することで「**ワクワクする武蔵野**」をつくり始めましょう！

宮代一利 経歴 ●1961 東京都出身 ●57 歳 ●武蔵野市在住 26 年
●1985 東京大学工学部卒 ●1985 三菱マテリアル (株) ●2009 日本 CCS 調査 (株) (JCCS) ●2012 (国) 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
●2015 (国) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

地域活動 ●開かれた学校づくり委員 (三中) ●青少協委員 (三小)
●南町カーニバル副委員長 ●ウイングス監督 (三小) ●市サッカー協会委員 ●都少年サッカー連盟第 9 ブロック委員 ●武蔵野ジャズオーケストラ、合唱団コール・コスモ、ウォームハートシンガーズ団員